

やすだじょうせき 安田城跡

国指定史跡

婦中町安田 244-1
富山市管理

安田城跡は、呉羽丘陵の東南麓、井田川の左岸に位置する平城です。本丸、二の丸、右郭の3つの郭からなり、周囲に堀がめぐらされています。堀は水堀であったことが確認されており、本丸及び二の丸からは土塁跡が見つっています。

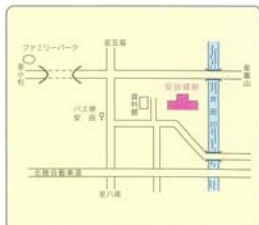
これらの堀と土塁の形態が、現在まで比較的良好な形で残っています。このように全体像がはっきりしている戦国末期の平城は、全国的に少なく国民の貴重な歴史的遺産です。

安田城は天正13年(1585年)、全国統一をめざす豊臣秀吉が越中の佐々成政を攻めた時、前線基地となった白鳥城の支城として前田家家臣、岡嶋一吉(備中守)が拠った城とされています。

その後岡嶋一吉の代官、平野三郎左衛門が居城しましたが、金沢へ帰還し廃城になったと伝えられています。



上空からみた安田城跡全景



安田下車(地铁/バス)徒歩5分



安田城跡資料館



土塁展示施設(本丸)